

【部会・分科会活動報告】 2016年11,12月度

| | | |
|---------------------------------|-----------|---|
| 食 品 安 全 研 究 会 | 食品微生物研究部会 | <p>1. 分科会活動</p> <p>①芽胞菌研究分科会 以下の3テーマについて、論文作成、外部発表を予定。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・甜菜糖原料からの高温性偏性嫌気性細菌の混入リスク精査 ・高温性偏性嫌気性細菌の統一検査法の確立 ・好熱性好酸性細菌の各種酸性飲料中での増殖性評価およびそのリスクに関する考察 <p>②MALDI-TOF MS研究分科会 NITE との共同研究契約を締結し、真菌のマスマスペクトルデータ取得の高効率化、微生物データベース拡充等に取り組む予定。</p> <p>③チルド勉強会 11月に勉強会を実施。セレウス菌やボツリヌス菌に関する論文の読み合わせを実施。また、食中毒菌以外の腐敗原因菌の情報についても検討する。</p> <p>④（仮称）飲料等の開栓品に対する微生物クレーム低減活動 2017年度より新たな分科会として発足：飲料等の開栓品に対する微生物クレーム低減活動の要望が高いことへの対応として、開栓品の微生物汚染情報や文献情報を取りまとめ、そのレビューをILSI誌等に寄稿する活動を行う。</p> <p>2. 部会全体会議 日時：12月9日(金)13:00-14:30、12月10日(土)9:00-10:00 場所：和光純薬工業(株)研修所（静岡）、参加者：35名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各分科会からの活動報告 ・2017年度の活動計画策定 ・その他、審議および報告 <p>3. 勉強会 日時：12月9日(金)15:00-17:30 場所：和光純薬工業(株)研修所（静岡） テーマ：容器詰チルド食品と微生物－安全性とその評価－ 講師：日本缶詰びん詰レトルト食品協会 駒木先生</p> <p>4. 次回、部会全体会議・勉強会の予定 日時：2017年1月31日13:00-18:00 場所：キューピー（東京） 勉強会テーマ1：NITE との共同研究 勉強会テーマ2：ノロウイルスに関する最新の研究</p> |
| | 食品リスク研究部会 | <p>1. 部会および勉強会</p> <p>部会 11/14 13:30-15:00</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新たなテーマ提案について ・次年度活動について <p>勉強会 11/14 15:30-17:00 演題：リスク管理に向けた評価とコミュニケーションの深化 講師：福島医科大学 村上道夫先生</p> <p>2. 次回部会および勉強会（JECFA 報告会）調整</p> |
| | 香料研究部会 | |

| | | |
|--------------|-------|--|
| バイオテクノロジー研究会 | 研究会全体 | <p>5月 ERA ワークショップ・フォローアップ勉強会 11月 14日開催</p> <p>● 全部で 30名近い参加があった。ILSI Japan 側から 5月のワークショップのまとめとその後合意した Assessment endpoints の一つである競合における優位性に関して何を評価すれば良いのかについての提案を行い、その後で雑草の専門家として農研機構の黒川先生に「雑草の特徴について」の講演をお願いした。話し合った結果、雑草性をもたないトウモロコシ・ワタが侵略的雑草になるためには、まず、自生性を獲得する必要があり、自生性とは休眠性、脱粒性を持つことである。トウモロコシ・ワタがこれらの特性を獲得するかについては、米国のほ場試験データにより評価することができると考えられる(データトランスポートビリティ)となった。侵略的雑草になるかどうかを判断するときに、自生性がなければ侵略的雑草になることはないという論文を ILSI を中心に作成し、今後議論を深めていくこととした。</p> <p>全体会議を 12月 15日に開催</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ERA プロジェクト調査報告第 30号勉強会 <ol style="list-style-type: none"> (ア) ERA プロジェクト調査報告第 29号 (OCT2016) 10月発刊 (イ) ERA プロジェクト調査報告第 30号 (JAN2017) 1月発刊予定 2. 2017年の計画 <ol style="list-style-type: none"> (ア) 研究会 6回 (イ) ERA 報告書 6報 (ウ) 勉強会 3回 (エ) ISBGMO への参加 (オ) ERA workshop (9-10月) (カ) NBT workshop (5月、または 9-10月) 3. GM 食品添加物の今後について： <ol style="list-style-type: none"> (ア) 高度精製食品添加物、高度精製食品について大きな進捗はない。今後、勉強会をどういう目的で行うのかを話し合い、実現させる。 4. NBT ワークショップ <ol style="list-style-type: none"> (ア) 11月 15日に決定したが、その後、最新の知見の発表が 11月 15日では間に合わないとのことで、来年 2-3月に延期することとなっていたが、更に延期が必要な情勢。現状では最速 5月、あるいは 9-10月も考える。農水省は 5月に ILSI と SIP の共催を望んでおり、それを考慮しながら計画を立てる。 5. 会計報告：現状を把握した。 6. 研究会人事異動 <ol style="list-style-type: none"> (ア) 現在副会長のバイエル クロップサイエンスの在田氏に代わり、ダウ・ケミカルの高橋氏が副会長に就かれた。 (イ) 協和発酵の窓口が川田氏から野口氏に変更となった。 |
|--------------|-------|--|

| | | |
|-------------|--|--|
| 栄養健康研究会 | 栄養研究部会 | 12月2日会議開催 1. 「健康な食事研究会」設立準備状況紹介 <ul style="list-style-type: none"> タスクフォース結成 キックオフシンポジウム (2017/2/22 開催予定) 研究会参加企業を募集し、3月末に活動開始予定 2. 2017年活動計画 <ul style="list-style-type: none"> 勉強会 (外部講師招聘、最新情報収集) ライフサイエンスシンポジウム (2018年2月) の企画・準備 「栄養とエイジング」国際会議 (2019年秋) の企画 3. 次期部会長選出 <ul style="list-style-type: none"> 2017年からの部会長に森永乳業の篠田一三氏が選出された。 |
| | GRプロジェクト | <ul style="list-style-type: none"> 第3回多施設試験を10施設で実施 (8月～) |
| | 茶類研究部会・茶情報分科会 | 11月14日会議開催 <ul style="list-style-type: none"> 茶成分データベース：分科会での中国茶試料の測定結果の報告。カテキン、カフェインの測定結果を分科会内で共有した。 茶類研究部会新規テーマ：次期テーマを紅茶成分のテアフラビン等有効成分に関して情報収集することを決定。中山先生と鈴木氏で、収集する情報に対する内容を打ち合わせて、たたき台作成する。 |
| 食品機能性研究会 | | |
| | 寄付講座 「機能性食品ゲノミクス」 | <ul style="list-style-type: none"> 第Ⅲ期寄付講座 (2013年12月開始、5年間) 研究進行中。 |
| C H P | Project PAN (Physical Activity and Nutrition) | ◇ テイクテン (TAKE10!®) 11/2, 8, 10, 16, 22, 24, 30 すみだテイクテン教室 (みどりコミュニティセンター, すみだ女性センター, スポーツプラザ梅若, 墨田区) 11/1, 8, 15, 22, 29 いきいきランチ教室 (八広地域プラザ, 墨田区) 11/11 テイクテン自主グループ交流会 (すみだリバーサイドホール) 11/14 墨田区介護予防サポーター養成講座 (墨田区役所) 11/15 江戸川人生大学 介護・福祉学科1年次講義 (篠崎文化プラザ, 江戸川区) 11/21 足立区介護予防講演会 「一緒にやろう老化を遅らせる運動・栄養プログラム「テイクテン!®」」 (生涯学習センター学びピア 21, 足立区) 12/6 震災被災地支援：いしのまきテイクテン (北上地区仮設にっこりサンパーク団地集会所, 宮城県石巻市) 12/7, 8, 13, 27 すみだテイクテン教室 (みどりコミュニティセンター, すみだ女性センター, スポーツプラザ梅若, 墨田区) 12/6, 13, 20, 27 いきいきランチ教室 (八広地域プラザ, 墨田区) |
| | Project SWAN (Safe Water and Nutrition) | 11/1-7 SWAN：プロジェクトサイト選定のための現地調査を実施 (インドネシア) |
| | Project IDEA (Iron Deficiency Elimination Action) | 12/15-16 第3回 栄養強化米の開発と市場導入のための多国間コンソーシアム会議 (参加国 インド, ベトナム, フィリピン, 米国, 日本等 20名、ニューデリー, インド) |
| | CHP 全体 | 特になし |
| | 国際協力委員会 | 特になし |

| | |
|-------|---|
| 情報委員会 | 1. 委員会開催 2 回 (11, 12 月) 2. ホームページ ・ 日常業務としての更新 (随時) 3. 「栄養学レビュー」誌 ・ 25 巻 1 号 (通巻 94 号) : 11/10 発刊予定 ・ 25 巻 2 号 (通巻 95 号) : 監修、編集 (来年 2/10 刊行予定) ・ 11/25 編集委員会開催 (通巻 96 号採択論文、翻訳者候補決定) |
| 編集部会 | ・ 「イルシー」誌 128 号、発行 ・ 「イルシー」誌 129 号、原稿査読・編集 |

【講演会・シンポジウムご案内】

| 講演会名 | 案内 | 担当研究部会 |
|------|----|--------|
| | | |
| | | |

【事務局からのお知らせ】

| | |
|-----|--|
| 理事会 | <p>第 7 回理事会が平成 28 年 12 月 21 日 (水) 15 時より開催された。</p> <p>決議事項</p> <p>議案： 今年度収支見込最終案、来年度収支予算最終案</p> <p>事務局より、今年度見込が連結ベースで若干の損失になり、その原因が CHP の収入に起因するものであると説明。監事より支部総会に向けて、Q&A を作成するよう指示あり。来年度収支については、一次案を見直した結果、連結ベースでは黒字とした。理事長より、国内 PAN 活動の縮小傾向について言及あり、それについて理事間で提案が出た。担当理事より、活動を実施するための資金の確保が先決で、本部に対してグローバルに集めるようすでに提案している。1 月の本部総会で結論がでるので待つて欲しい旨説明あり。議案については、全員一致で承認された。</p> <p>報告／討議事項：</p> <p>1) 健康な食事研究会 (仮) 設立に向けて 設立シンポジウムの内容について、講演テーマ、講演者、パネリスト、後援団体等がほぼ決定したと事務局長より進捗状況の報告をした。外食・中食・給食業界の方々への開催の連絡方法や当日メディアへの声掛けが確認された。</p> <p>2) 発展型 ILSI 寄付講座について 年末にタスクフォースを開催し、選任メンバーが充分議論する予定を説明。</p> <p>3) 本部総会での発表の概要 ・ 「食品安全」は、リスク問題の全体のとらえ方と特徴的な「MALDI-TOF/MS」を用いた菌種同定技術の確立を説明 ・ 「栄養」は、今後実施予定の「健康な食事研究会」の内容を中心に説明 ・ 「ポスターセッション」は、「健康な食事研究会」の活動計画内容を中心に掲載</p> <p>4) 支部総会次第案</p> |
|-----|--|

| | |
|-----|--|
| | <p>議事：「平成 28 年事業活動報告書（案）」の承認、「同決算報告書（案）」の承認と「平成 29 年事業活動報告書（案）」の承認、「同収支予算書（案）」の承認</p> <p>報告：1 月の本部総会報告、前回総会で説明した理事任期期間の定款変更の結果</p> <p>報告案を例年よりわかりやすくし、活動の中身が見える総会にする。</p> <p>5) ILSI Mandatory Policies（必須方針）</p> <p>本部が作成した、支部が従う「必須方針」の内容について事務局長が説明。順次整えるという方向で実施。</p> |
| 事務局 | 特になし。 |